

令和5年度いわて女性の活躍促進連携会議の取組について

1 いわて女性活躍企業等認定制度など女性活躍関連制度の普及拡大

(1) 認定メリットの拡充

R4までの優遇措置(ステップ1・2共通)

- ① 県のホームページ等により、広く県民に紹介
- ② 職業安定所の求人登録票に表示できる
- ③ 「いわて復興パワー」において東北電力(株)が指定する高圧契約種別における電気料金割引の対象
- ④ 沿岸地域基幹産業人材確保支援事業費補助金に係る補助要件
- ⑤ 県営建設工事の総合評価落札方式条件付一般競争入札における技術提案評価項目へ追加

R5追加の優遇措置(ステップ1・2共通)

- ⑥ 「いわて産業人材奨学金返還支援制度」に係る認定企業の対象要件への追加
- ⑦ 北日本銀行「きたぎん SDGs 経営サポートローン」における優遇措置
- ⑧ 岩手県信用保証協会「社会課題解決推進型短期継続保証 I Oing」の利用

※ ⑦⑧は公民連携による初の優遇措置

(2) いわて女性活躍企業認定数 (R5.12月末現在)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
ステップ1	2	20	30	45	52	46	26	221
ステップ2	7	48	31	54	51	53	27	271
合計	9	68	61	99	103	99	53	492

(3) えるぼし・プラチナえるぼし認定数 (R5.12月末現在)

青森県	秋田県	岩手県	宮城県	山形県	福島県	全国
17	11	31	23	25	17	2,580

東北1位

いわて女性活躍企業認定数
(累計・R5.12月末現在)




2 女性が活躍できる職場環境づくり

(1) 経営者層への働きかけ

事業名	内容
<p>① いわて女性活躍エグゼクティブアドバイザー 【新規】</p>	<p>矢島 洋子氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)による講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5.8.9 いわて女性の活躍連携促進会議 「企業等における女性活躍」 ・ R5.10.23 経営者協会「経営者懇談会」 「ダイバーシティと女性活躍」～企業に求められる取組とは～ 【参加者 61名】 ・ R6.1.11 中小企業団体中央会「新春トップセミナー」 「多様な人材が活躍できる組織」～中小企業におけるダイバーシティ推進～ 【参加者 97名】 ・ R6.2.8(予定) 岩手県農業会議セミナー
<p>② 経営者セミナー</p>	<p>女性活躍の必要性やメリットについての講演や、先進事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5.11.9 「海外にも精通する東北の男性経営者から見た「女性活躍推進の必要性」」 講師:(株)ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎 氏 【参加者 60名】 ・ R5.11.21 「女性活躍のために知っておくべきリーダーシップの本来の意味と組織に与える影響を考える」 講師:(株)うつくしろ 代表取締役 相座 聖美 氏 【参加者 61名】



(2) 若者女性に選ばれるモデル企業の創出と発信【新規】

事業名	内容			
若者女性に選ばれるモデル企業創出事業（ハンズオン支援）	県内企業・団体の女性の活躍促進に向けた取組を伴走支援し、若者女性に選ばれるモデル企業を創出			
	・R5モデル企業13社に対し、社会保険労務士6名を各社に分担して派遣			
	【R5 モデル企業】			
	建設	医療・福祉	その他（産廃処理、小売、製造、飲食等）	合計
	4	2	7	13
	【R5派遣回数（予定）】 各社 2回			
【各モデル企業が抱える主な課題】				
<ul style="list-style-type: none">・ 女性管理職ロールモデルの育成・ 女性活躍推進法等に基づく一般事業主行動計画の策定・ 国や県の認定制度の認定取得・ 現状で女性が少ない部門・職種への積極的な採用や配置・ 性別役割分担意識に起因する社内風土の改善 など				
				
モデル企業での取組のプロセスや成果を、県 Web 等で情報発信		職場環境だけでなく、性別役割分担意識等へのアプローチも必要		

3 女性の就業・キャリア形成支援



(1) 女性のエンパワーメント研修

事業名	内容
① ロールモデル提供セミナー	<p>ロールモデルとなる女性の体験談やグループでの意見交換(若手女性社員向け)</p> <p>・ R5.12.13 「多様なロールモデル体験談から考える譲れない「私の生き方・働き方」セミナー」</p> <p>講師:(株)うつくしろ 代表取締役 相座 聖美 氏</p> <p>【参加者 44 名】</p>
② ステップアップ支援セミナー	<p>リーダーに必要な心構えの講義やグループワーク(中堅女性社員向け)</p> <p>・ R6.1.24 「自分のリーダーシップタイプを知ろう!仕事に活かせるコミュニケーションスキルアップセミナー」</p> <p>講師:(株)うつくしろ 代表取締役 相座 聖美 氏</p> <p>【参加者 92 名】</p>

(2) 働きたい・働くことに不安のある女性向け就労支援

事業名	内容
① 困難を抱える女性向け就労支援セミナー【拡充】	<p>キャリアコンサルタントによるワークショップ・個別相談</p> <p>・ 県男女共同参画センターに委託し、県内4か所(①県央(盛岡)、②県北(二戸)、③県南(花巻・奥州)、沿岸(釜石・大船渡))で計 24 回開催</p> <p>【12 月末現在 22 回・延べ参加者数 158 名】</p>

(3) 女性のデジタル分野での活躍促進【新規】

事業名	内容
<p>① デジタル人材入門セミナー</p> <p>大変好評で、定員を超える申込あり</p>	<p>デジタル人事に該当する各職業やデジタルスキルの習得方法の紹介等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5.10.4 「デジタルで拓く、これからのキャリア」、「就職・仕事、私の“デジタルスキル”の活かし方」「デジタル人材やスキルの学び方について知ろう」等 <p>講師：富士通（株）シニアエバンジェリスト 松本 国一氏 等</p> <p>【参加者 112名（オンライン参加46名、会場参加66名）】</p> <p>【セミナー受講者からの声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルへの理解が進み、自分でも挑戦したくなった。 ・デジタルを難しく考えすぎていたと感じた。 ・DXについて、詳しく理解できた。など 
<p>② デジタルスキル習得体験</p>	<p>セミナー受講者で希望者によるデジタルスキル習得体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5.10.16・18 Excel データ分析 ・ R5.10.25 デジタルマーケティング ・ R5.10.27 動画制作 <p>【参加者 延べ101名】</p> 



構成団体・委員

- 【構成団体】 岩手県消防長会、公益財団法人岩手県消防協会、岩手県婦人消防連絡協議会、岩手労働局雇用環境・均等室、岩手県教育委員会事務局学校教育室
- 【女性消防職団員】 小菅 亜紀子 氏（北上地区消防組合 消防司令補）、長谷川 みなみ 氏（盛岡地区広域消防組合 消防士長）、千田 沙緒理 氏（奥州金ヶ崎行政事務組合 消防士長）、藤原 神奈 氏（盛岡市消防団 本部付副分団長）、伊藤 トヨ 氏（奥州市消防団 副分団長）、高宏 美鈴 氏（遠野市消防団 団員）、山火 和枝 氏（一戸町消防団 団員）

これまでの取組実績

1 部会発足時からの取組実績について

	女性消防職員	女性消防団員
活動PR	<ul style="list-style-type: none"> 県広報番組で女性消防職員活躍促進に係るPR実施（R1） 岩手県女性活躍促進ポスターの作成（R1） 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画フェスティバルで女性消防団員の活躍促進に係る分科会の実施（H29～R1） 県立大学の大学祭での消防団活動のPR実施（H29～R1） S N S等を活用した全県的な加入促進広報の実施（R5～）
採用（入団）	<ul style="list-style-type: none"> マイナビインターンシップフェアへの参加（H29～R1） 消防本部毎に女性消防職員数の数値目標の設定（H29） 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員確保対策費補助金（女性消防団員活躍促進事業）（R2～R4） 「いわて消防団応援の店」制度（H29～） S N S等を活用した全県的な加入促進広報の実施（R5～）
活躍促進	<ul style="list-style-type: none"> 全国女性消防吏員交流会への派遣（H30～） 女性活躍推進講習の実施（H30～） 県内女性消防吏員研修会の実施（H30～） 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員確保対策費補助金（女性消防団員活躍促進事業）（R2～R4）

2 令和5年度の取組

女性消防職員	女性消防団員
<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進講習の実施（1/11 県消防学校） 全国女性消防吏員交流会への派遣（10/21 北九州市） 県内女性消防吏員研修会の実施（2月13日 県消防学校） いわて就職マッチングフェアへの参加（3/16 滝沢市） 	<ul style="list-style-type: none"> 「いわて消防団応援の店」制度（12/1時点 411店舗） 市町村消防団事務担当者会議（8/31 先進事例研修） 消防団員交流会（2月8日 Web会議） 【新】S N S等を活用した広報の実施（テレビ番組、SNS広告等）（11月～）

成果・課題

1 女性消防職員の活躍促進

- 消防職員に占める女性の割合は増加したが、国の目標には達していない。
- 就活イベント等を活用し、応募者の増加を図るとともに、女性の働きやすい環境の実現やキャリア形成促進のため、研修等を通じた意識啓発が必要。

2 女性消防団員の活躍促進

- 消防団員に占める女性の割合は横ばい傾向で、国の目標には達していない。
- 女性消防団員の担い手確保のため継続した広報活動や、優良事例の情報共有等により県内市町村に加入促進効果を波及させる取組が必要。

◎本県の消防職員に占める女性の割合

H29 : 1.8% (36人) ⇒ R5 : 3.3% (66人)

※全国 H29 : 2.6% ⇒ R4 : 3.4%

※国の目標 令和8年度までに5.0%

◎本県の消防団員に占める女性の割合

H29 : 2.2% (490人) ⇒ R5 : 2.7% (501人)

※全国 H29 : 2.9% ⇒ R5 : 3.7%

※国の目標 令和8年度までに10.0% (当面 5.0%)

構成団体・委員

学校法人盛岡大学短期大学部、日本保育協会岩手県支部、岩手県私立保育園連盟、認定NPO法人いわて子育てネット
岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会（岩手県社会福祉協議会）、岩手県小学校長会

これまでの取組実績

区分	内容	年度
関係団体との連携	・保育関係団体等と保育士の処遇改善、キャリアアップ、研修の実施等について意見交換 ・いわて未来づくり機構子育て支援作業部会と連携し「企業等における子育て支援」について意見交換 ・ 女性の就業促進部会と連携し、「仕事と子育ての両立支援等」について意見交換	H29、H30 H30 R5
施策についての検討	・「いわて子どもプラン（中間案）」及び子ども・子育て支援に係る個別計画の策定について検討 ・「企業における子育て支援体制についての調査」（いわて未来づくり機構子育て支援作業部会H30実施）の結果を分析、企業等への働きかけについて検討 ・いわて県民計画第2期アクションプランの策定に係る意見聴取	} R1 R4
県への提言	・保育士確保のため、保育士修学資金貸付の貸付枠拡大について提案	R2

成果・課題

1 成果

- 待機児童数：176人（平成29年）⇒27人（令和5年4月1日）
- いわて子育てに優しい企業認証 認証企業数：65（H29）⇒**427**（R5年12月末）

2 課題

- 保育所等や放課後児童クラブにおいて、保育人材の不足や定員に対する年齢別のニーズのミスマッチ等により、特定の地域において待機児童が生じており、仕事と子育ての両立の実現を含めた、子ども・子育て支援の充実を図る必要がある。
- 少子化の進行、子ども・家庭を取り巻く環境の変化に対応しながら、仕事と子育ての両立の実現を含めた雇用労働環境の安定などの取組を強化しつつ、子ども・子育てに関わる様々な「生きにくさ」を「生きやすさ」に変え、各ライフステージに応じた切れ目のない支援を行っていく必要がある。

構成団体・委員

工藤 昌代氏 (株)ホップス 代表取締役
 佐々木 祐子氏 (東京土地販売(株) 代表取締役)
 佐藤 智栄氏 (株)サトウ精機 代表取締役社長)

畠山 いずみ氏 (株)北日本銀行
 山田 智子氏 (株)山田酒店 取締役)

渡邊 さやか氏 (株)re:terra 代表取締役)
 渡邊 里沙氏 (有)秀吉 取締役)

これまでの取組実績

1 部会発足時からの取組実績について

- 提言書「男女ともに働きやすい職場環境づくりを目指して」の取りまとめ (R2)
- 男女ともに働きやすい職場環境づくりに向けた普及啓発・情報発信 (R2～)
 - ・ 盛岡工業クラブ、盛岡商工会議所女性会との意見交換等の開催
 - ・ Facebook & X (旧Twitter)、ラジオ番組による情報発信

等

2 令和5年度の取組

- 男女ともに働きやすい職場環境づくりに向けた普及啓発・情報発信
 - ・ 岩手県中小企業家同友会、盛岡工業クラブとの勉強会等の開催
 - ・ 子育て支援部会との合同開催 (仕事と子育ての両立) 【新規】
 - ・ 県北圏域における出張部会 【新規】
 - ・ Facebook & X (旧Twitter)、わんこ広報室による情報発信

等

成果・課題

1 成果

- 経済団体 (累計9団体: 延べ173社) と連携した取組を展開
- 23社が働きやすい職場環境づくりに向けた行動を宣言
- 事業者との意見交換を盛岡圏域以外で実施 (1回: 17社)

2 課題

- 人口減少が進んでおり、女性の更なる活躍が期待されていることから、女性をはじめ、誰もが働きやすい職場環境づくりが必要。
- アンコンシャス・バイアスの解消や経営者の意識改革等、経済団体との連携や情報発信により一層の推進が必要。



▲ 岩手県中小企業家同友会との学習会



▲ 盛岡工業クラブとの意見交換



▲ 出張部会 @二戸市

構成団体・委員

【女性農林漁業者】 會 澤 麻希子氏（林、北上市）、大 森 友紀子氏（農、紫波町）、岡 田 真由美氏（水、大船渡市）、
小 泉 花 衣氏（農、奥州市）、菅 原 紋 子氏（農、雫石町）、高 橋 愛 氏（水、八幡平市）、
福 土 好 子氏（農、岩手町）、細 川 睦 氏（農、雫石町）
【構成団体】 一般社団法人岩手県農業会議、岩手県農業協同組合中央会、岩手県森林組合連合会、岩手県漁業協同組合連合会、
岩手県農山漁村女性組織連携会議、岩手県

これまでの取組実績

1 部会発足時からの取組実績について

H29～	様々な分野の経営者等との交流、農林水産業の魅力等の情報発信
H30～	女性活躍に向けた支援事業を県に提案 ・女性グループ活動の補助事業の創設 等
R2	提言書「女性農林漁業者がいきいきと輝くために」のとりまとめ
R3	魅力を発信する「新3K＝輝き、絆、希望」の決定
R4	他部会（女性の就業促進部会、産学官連携サテライトミーティング）との意見交換



3部会合同意見交換会



大学生との意見交換

2 令和5年度の取組

- ・女性活躍に関する意識改革の推進【先進企業との意見交換、女性参画に関する意識醸成に向けた取組の検討】
- ・課題解決に向けた各種取組の実施【アンコンシャス・バイアスの解消に向けたセミナー、ICT導入に向けたワークショップ】
- ・農林水産業で働く女性就業者の確保【大学生との意見交換、ラジオでの情報発信^{New}】

成果・課題

○ 女性農業者の経営参画割合は増加傾向にあるが、農林水産業に携わる女性の活躍を推進するため、家庭や地域におけるアンコンシャス・バイアスの解消が必要。

【女性農業者の経営参画割合：H29（実績）27.5%→R4（実績）33.9%→R8（目標）36.5%】

○ 地域で活躍する女性農林漁業者の紹介を通じた農山漁村の魅力に関する情報発信が必要。

構成団体・委員

【構成団体】（一社）岩手県建設産業団体連合会 ※13団体及び岩手県

※（一社）岩手県建設業協会、（一社）岩手県電業協会、（一社）岩手県空調衛生工事業協会、岩手県鉄構工業協同組合、（一社）日本塗装工業会岩手県支部、（一社）岩手県警備業協会、（一社）岩手県測量設計業協会、岩手県アスファルト合材協会 ほか

【委員】会長 上野 千寿子（岩手県建設業女性協議会）、副会長 工藤 監子（（一社）岩手県電業協会）ほか、11名

これまでの取組実績

- ・ 県内工業高校生との意見交換会の開催（R2～）
- ・ 女性の雇用促進に関するアンケート調査の実施（R3.5）
- ・ いわて建設業みらいフォーラムでの女性技術者による就職等に関する相談対応（R2～）
- ・ いわて建設業みらいフォーラムの収録動画の配信（R4～）
- ・ 「けんせつ小町部会提言書」の作成（R4）

【R5新規】

- ・ 県内建設企業における職場環境改善（働き方改革）に係る事例発表会・意見交換会の開催
- ・ 「けんせつ小町部会提言書」に掲げる取組の推進に向け、建設企業の現状を把握するため、「働きやすい職場環境整備等の取組状況調査」を実施



令和6年1月22日実施：盛岡工業高校生との意見交換会

成果・課題

<成果>

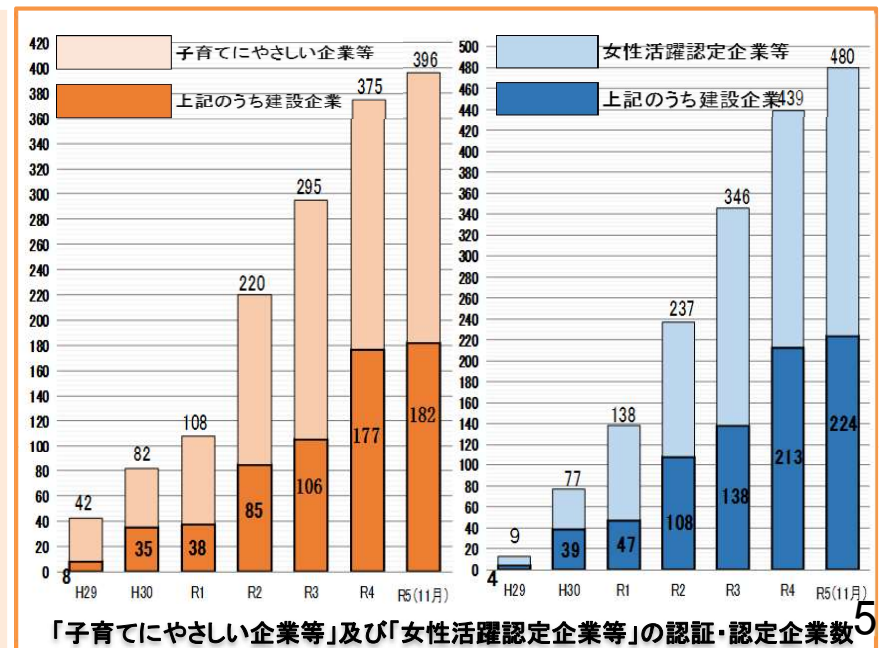
- ・ 「いわて子育てに優しい企業等」の認証や「いわて女性活躍認定企業等」の認定を受けている企業数が増加。令和5年度（11月時点）の登録企業数は、それぞれ182社、226社となっており、建設企業の意識の醸成が進展（右図）。

【認証・認定を受けた建設企業からの声】

- ・ 男女ともに、以前よりも休暇が取りやすくなった。
- ・ 社長自ら、定時退庁日に社員に帰宅を促すようになった。
- ・ 女性活躍認定企業である旨求人票に記載し、「女性技術者」の入职につながった。

<課題>

- ・ 働きやすい職場環境整備等の取組状況調査（R5.8）の結果、女性の採用や業務内容の課題として、「性別による業務の割振り」や、「処遇・待遇面の制約」等が指摘されており、若者・女性の活躍促進のため、各企業の更なる改善努力が必要。
- ・ 「けんせつ小町部会提言書（R4年6月）」を踏まえ、引き続き誰もが働きやすい環境整備を進めるとともに、建設業の魅力や働きがいなどの発信によるイメージアップが必要。

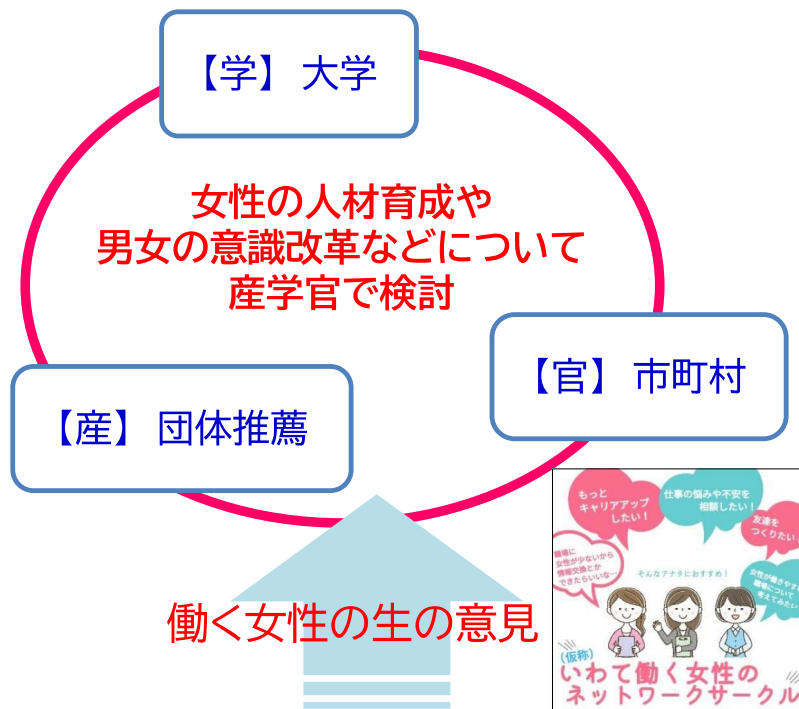


構成団体・委員

栗山 知佳（盛岡信用金庫）
小泉 花衣（農業）
横澤 則子（国立大学法人岩手大学ダイバーシティ推進室）
小嶋 美沙子（公立大学法人岩手県立大学看護学部）

岩間 海（盛岡市市民部市民協働推進課男女共同参画推進室）
熊谷 和（花巻市地域振興部地域づくり課）
高橋 温子（北上市まちづくり部地域づくり課）
糠森 美幸（遠野市産業部商工労働課）

取組体制（令和2年9月～）



令和4年8月～

【産】「いわて働く女性の
ネットワークサークル イワテナ」
県内の企業・団体等に勤務する女性を
公募により募集
※メンバー数 63名(R5.12.31現在)



これまでの活動実績

◆ 産学官連携サテライトミーティング

年度	内容
R2年度	女性活躍に関する全般的な意見交換
R3年度	「若年女性が地元に残るには」に関する意見交換
R4年度	いわて働く女性のネットワークサークルの立ち上げ
R5年度	アンコンシャスバイアス、家事・育児シェアに関する意見交換



◆ いわて働く女性のネットワークサークル

開催日	意見交換テーマ
R4.8.31	仕事のやりがい
R4.12.18	キャリアアップ
R5.3.14	コミュニケーション勉強会
R5.7.26	仕事と家庭（育児・介護・プライベート等）の両立



活動により見えてきた課題

- ・管理職になることへの関心や仕事でキャリアアップをしていきたいのに、育児や家事などの家庭の負担が大きく、仕事との両立が難しく諦めざるを得ない
- ・時短勤務していることで、周囲から「子どもがいるから無理だろう」と一方的に配慮されてしまい、キャリアアップのチャンスを奪われ、悔しい思いをした

⇒ 家庭内での家事・育児の女性への偏りの解消が必要